青森県は今後どのような核のゴミ政策をとるべき？　　余裕深度廃棄物問題ってなに？

「核のゴミ問題」学習会

 ○と き：2015年1月24日（土）～25日（日）

○学習会会場：野辺地観光物産PRセンター・イベントホール（野辺地駅となり、松山旅館近く）

○宿泊先：松山旅館（野辺地町中小中野39-2）※日帰りも可能です。

○講　師：核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局長・核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会事務局員、

　　　　　 本ネットワーク事務局員　 山田清彦さん（二日間の講師です）

○学習会に参加する方:参加費　500円(二日分)　※山田さんの著書と独自に作成したDVDも販売します。

○宿泊する方:（宿泊費+懇親会費。なお学習会参加費は別）9,500円

○日帰りする方で懇親会に参加する方:（懇親会費。なお学習会参加費は別）3800円

　参加申込締め切りは　2015年1月19日（月）まで・・早めに連絡頂ければ助かります。

◇24日（土）15時〜17時 （懇親会は18時から）

第一部　テーマ「核燃サイクルの輪から出る核のゴミ問題」

　　ウラン鉱山から原発の燃料になるまでの核のゴミ問題は深刻です。そして、核燃サイクルの輪が廃れても、その

　　後始末に大量の核のごみが出ますが、そのことに真剣に取り組む人が少ないのが現実です。その中で、六ヶ所再

　　処理工場を作る必要が出され、今度は経費負担が重いので国営化という流れが出ています。これらの流れや核の

　　ゴミ問題について検証します。

◇25日（日）9時〜11時

　第二部　テーマ「六ヶ所核燃サイクルと余裕深度廃棄物問題」

　六ヶ所核燃サイクル施設の青森立地を振り返り、その中に余裕震度廃棄物処分施設が入っていたかどうかを検証

　します。そして、余裕震度廃棄物を国がどのようにしようと画策してきたか？六ケ所村に立地された研究施設の

　研究成果を見ながら、その方向性として立地可能性が高いかどうかを見直します。

※六ヶ所核燃施設の状況を中心に論じることになります。また核燃サイクルを論じる過程で、大間原発やむつの中

 間貯蔵施設、東通原発問題にも触れる予定です。みなさんと大いにディスカッションをしたいと考えております。

主催：なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク

 青森市松原1-2-12青森県保険医協会内　TEL 017-722-5483　s-araya@ahk.gr.jp

参加申込　なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク　行き

　　　　　　　　FAX 017-774-1326（電話やメールも受け付けます）

以下に　チェックマーク「レ」をお願いします。

□24日（第一部）の学習会に参加する

□25日（第二部）の学習会に参加する

　 □宿泊し懇親会に参加する

 □懇親会のみ参加する（日帰り）

申込者氏名　　　　　　　　　　申込者連絡先（電話、メール）

住所　〒　　　　　　　　　　　　　　　所属団体など